

RX-471

SUPER RESPONSE

2.4GHz

670A02321A

取扱説明書

このたびは、SANWA 2.4GHz RX-471をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書は、本製品を安全にご使用いただくために、取扱いに関する手順、注意事項について説明しています。
本製品の性能を充分発揮させるために、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、正しくお取扱いいただくようお願い申し上げます。なお本書はお読みになった後も、いつでも読めるように大切に保管してください。



注意 安全に使用していただくための注意事項

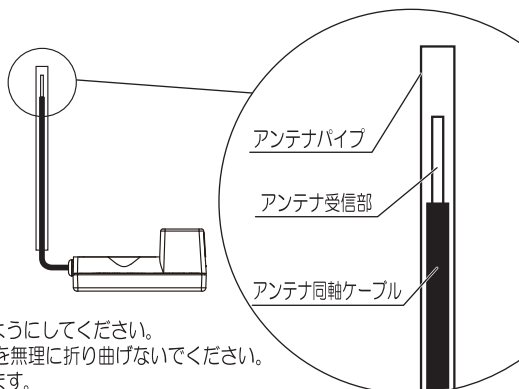
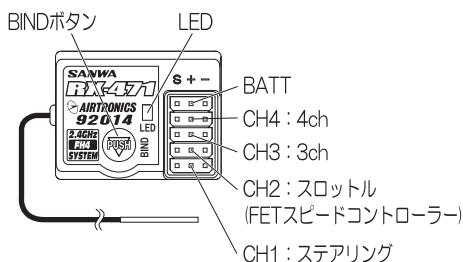
- RX-471 (2.4GHz帯スペクトラム拡散方式レシーバー)について、本製品はM12、M11X、EXZES X、MT-4、MX-3X、GEMINI XなどのFH4、FH3対応の送信機専用です。その他のAM/FM/2.4GHzプロポには使用できません。
- SHR、SSRモードではアナログサーボは動作しませんのでご注意ください。
誤ってSHR、SSRモードでアナログサーボを使用すると、正常に動作せずサーボが壊れますので、絶対にSHR、SSRモードでアナログサーボを使用しないでください。
デジタルサーボ(SRGシリーズ、Digital ERGシリーズ)やSV-08、HV-10、HV-12の場合はNOR、SHRモードのどちらでも動作します。
SHR、SSRモードではBL-RACER、BL-FORCE、F2000、F2200、F3000、F3300、SBL-01/02/03CRIは動作しません。必ずNORモードでご使用ください。
- 2.4GHz帯はラジオコントロール専用の周波数帯ではありません。この周波数帯はISM(産業、科学、医療)バンドと共有されているので、都市部では電子レンジ、無線LAN、デジタルコードレス電話、オーディオ機器、ゲーム機や携帯電話のBluetooth、VICSなどの近距離通信の影響を受ける可能性があります。またアマチュア無線、移動識別用構内無線にも使用されているため、これらの影響に注意をして使用してください。
なお、既存の無線局に有害な電波干渉を与えた場合は、速やかに電波の発射を停止し、干渉回避対策をおこなってください。
- RCサーキット等では2.4GHzシステムに影響を与える可能性のある機器の使用を最小限にし、必ず事前に安全性の確認をおこなってください。また、施設管理者の指示に従ってください。
- 建物や鉄塔などの後ろを走行(航)させたときのように電波の到達方向を遮へいすると、操縦レスポンスの低下や操縦不能になる可能性があります。常に目視で確認出来る範囲で走行(航)してください。
- 日本国内では、技術適合証明試験を受け、認証番号を記載した技術適合証明ラベルが貼られている送信機やモジュールが使用できます。技術適合証明ラベルを剥がしたり汚したりしないでください。
- 海外からの輸入品等の場合で、技術適合証明ラベルが貼られていない送信機やモジュールを日本国内で使用することはできません。電波法違反になる場合があります。
- (財)日本ラジオ電波安全協会では、ラジオコントロールに使用する電波を安全に使用していくための啓発をおこなっています。同協会の名称の入った技術適合証明ラベルが貼られている送信機やモジュールの使用を推奨します。



※技術適合証明ラベル(例)

2.4GHz

各部の名称とアンテナの取扱いについて



- 受信機とアンテナが搭載される場所により、受信距離が異なります。
- 右図のようにアンテナ受信部(先端から約3cm)を保護するために、必ずアンテナパイプにアンテナを入れて、先端がアンテナパイプの外部に出ないようにしてください。
- アンテナ受信部は絶対に、折り曲げないでください。また、アンテナ同軸ケーブルを無理に折り曲げないでください。
- 同軸ケーブルを無理に引っ張らないでください。受信機内部の破損の原因となります。

2.4GHz

RX-471 について

- RX-471はFH4、FH3のNOR/SHR/SSRモードに対応した受信機です。SSRモードとSSRモードに対応した機器を使用することでSHRよりさらにレスポンスアップします。SSRモードに設定されている状態では、SSRモードに対応した機器以外は動作しません。(SRGサーボはSSRモード/SHRモード/NORモードに対応しています。)
 - Digital ERGシリーズ、SV-08、HV-10、HV-12は必ずSHRモードで設定してください。
- ※SHRとSSRのモードを切替えた際に、EPAの設定が変わる場合がありますので、再度EPAの設定をおこなってください。

2.4GHz

BIND (バインド) の設定方法

BIND (バインド) とは、2.4GHz 送信機はそれぞれ固有の ID (固体識別) 番号をもって、その ID 番号を受信機に記憶させることです。BIND 設定した 2.4GHz 送信機と受信機のセットでしか動作しないようになります。

① 2.4GHz 送信機の電源 SW を ON にします。

② RX-471 の BIND ボタンを押しながら、受信機側の電源 SW を ON にします。

③ RX-471 の LED がゆっくりとした点滅になるのを確認したら、受信機の BIND ボタンを離します。

※ RX-471 の BIND ボタンを離さないで LED が消灯して BIND 設定がおこなえなくなります。

※ RX-471 の LED がゆっくりとした点滅になる前に BIND ボタンを離した場合、BIND モードに入らない場合があります。

再度②の作業からやり直してください。

④ RX-471 の LED がゆっくりとした点滅の時に、2.4GHz 送信機で BIND 操作を行います。

(送信機の BIND 操作に関しては送信機の取扱説明書をご覧ください。)

⑤ RX-471 の LED の点滅が高速点滅になり、その後 LED が点灯します。

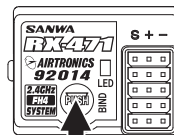
受信機の LED が点灯したらサーボ等を動作させて BIND が完了したことを確認してください。

※ M12、MT-4 の場合は LED の高速点滅になり、その後 LED が消灯します。

LED が消灯したら、送信機の BIND 操作を完了させてください。

BIND が正しくおこなわれていると受信機の LED が点灯します。

※ BIND 設定が完了していない場合は②の作業からやり直してください。



PUSH

⚠ 注意

■ 出荷時には BIND 設定されていませんので、ご使用になる前に必ず BIND 設定をおこなってください。

■ 必ず BIND 設定した送信機と受信機のセットでお使いください。

2.4GHz

レシーバー LED の状態

レシーバー LED の点灯によってレシーバーの動作状態がわかるようになっています。

レシーバー LED の状態



電波を受信している状態	青点灯
電波を受信できない状態	—
BIND (バインド) 設定中	青点滅、青高速点滅
バッテリーフェールセーフ作動	青 & 赤点灯
バッテリーフェールセーフ作動後に電波を受信できない状態	赤点灯



注 意 安全に使用する際の注意事項

- RC カーに搭載したときに、アンテナ受信部なるべく高い位置になるようにしてください。
- アンテナ受信部、アンテナ同軸ケーブルは切断したり束ねたりしないでください。
- 受信機のアンテナはモーター、FET スピードコントローラー (配線も含む) から離してください。
- 走行中の振動でコネクターが抜けると、暴走の危険があります。受信機、サーボ、スイッチ等のコネクターは確実に接続してください。
- 受信機は振動、衝撃、水に弱いので、防振 / 防水対策を確実にしておこなってください。対策を怠ると暴走の危険があります。
- RC カーに搭載している金属パーツ同士が接触すると、ノイズが発生し受信機性能に悪影響をおよぼし、暴走の危険があります。
- 電動 RC カーのモーターには必ずノイズキラーコンデンサーを取り付けてください。ノイズキラーコンデンサーを取り付けていないと、ノイズが発生し暴走の危険があります。
- サーボには必ず付属のアブソーバーゴムを使用してください。振動がサーボに直接伝わり、サーボトラブルが発生し、暴走の危険があります。
- 送信機、受信機、サーボ、FET スピードコントローラー、受信機バッテリー等のプロポパーツは、SANWA 純正品をご使用ください。

※ SANWA 純正部品以外の組み合わせにより発生した損害などにつきましては、当社では責任を負いません。

2.4GHz

修理について

調子が悪いときはまずチェックを！。

修理に出される場合は、故障状況を詳しくご記入の上、本社サービスへ修理依頼してください。

また、ご質問、お問い合わせがありましたら、お近くの本社サービス/東京営業所にて受付けております。

電話でのお問い合わせは土曜、日曜、祝日を除く AM9:30~12:00、PM1:00~5:00 です。

修理依頼カード

このカードに故障状況を詳しくご記入のうえ、必ず製品と一緒に送りください。

フリガナ
お名前

電話 ()

〒

ご住所

故障状況



SANWA

三和電子機器株式会社

本社/東大阪市吉田本町1丁目2-50

〒578-0982 Ⅸ072 (964) 2531

東京営業所/東京都台東区浅草橋3-18-1 (KKKビル)

〒111-0053 Ⅸ03 (3862) 8858

(本社サービス) 東大阪市吉田本町1丁目2-50

〒578-0982 Ⅸ072 (962) 2180

RX-471

Dual ID VERSION

2.4GHz

670A02323A

補足説明書

このたびは、SANWA 2.4GHz RX-471 デュアルIDバージョンをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書は、本製品を安全にご使用いただくために、取扱いに関する手順、注意事項について説明しています。
本製品の性能を充分発揮させるために、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、正しくお取扱いいただくようお願い申し上げます。
なお本書はお読みになった後も、いつでも読めるように大切に保管してください。



注意 安全に使用していただくための注意事項

- RX-471デュアルIDバージョン(2.4GHz帯スペクトラム拡散方式レシーバー)について、本製品はM12、MT-4、M11X、EXZES X、MX-3X、GEMINI XなどFH4/FH3専用です。その他のAM/FM/2.4GHzプロポには使用できません。
- SHR、SSRモードではアナログサーボは動作しませんのでご注意ください。
誤ってSHR、SSRモードでアナログサーボを使用すると正常に動作せずサーボが壊れますので、絶対にSHR、SSRモードでアナログサーボを使用しないでください。(アナログサーボ: Hyper ERGシリーズ、RS-995、SX-165 T、SPECシリーズ)
- SHR、SSRモードではBL-RACER/FORCE/Sport、F3300、F3000、F2200、F2000、BL-FORCE、SBL-01/02/03CRなどのスピードコントローラーは動作しません。必ずNORモードでご使用ください。
- 2.4GHz帯はラジオコントロール専用の周波数帯ではありません。この周波数帯はISM(産業、科学、医療)バンドと共用されているので、都市部では電子レンジ、無線LAN、デジタルコードレス電話、オーディオ機器、ゲーム機や携帯電話のBluetooth、VICSなどの近距離通信の影響を受ける可能性があります。またアマチュア無線、移動識別用構内無線にも使用されているため、これらの影響に注意して使用してください。
なお、既存の無線局に有害な電波干渉を与えた場合は、速やかに電波の発射を停止し干渉回避対策をおこなってください。
- RCサーキット等では2.4GHzシステムに影響を与える可能性のある機器の使用を最小限にし、必ず事前に安全性の確認をおこなってください。
- 建物や鉄塔などの後ろを走行(航)させたときのように電波の到達方向を遮へいすると、操縦レスポンスの低下や操縦不能になる可能性があります。
常に目視で確認出来る範囲で走行(航)してください。
- 日本国内では、技術適合証明試験を受け、認証番号を記載した技術適合証明ラベルが貼られている送信機やモジュールが使用できます。
技術適合証明ラベルを剥がしたり汚したりしないでください。
- 海外からの輸入品等の場合で、技術適合証明ラベルが貼られていない送信機やモジュールを日本国内で使用することはできません。電波法違反になる場合があります。
- (財)日本ラジコン電波安全協会では、ラジオコントロールに使用する電波を安全に使用していくための啓発をおこなっています。同協会の名称の入った技術適合証明ラベルが貼られている送信機やモジュールの使用を推奨します。



※技術適合証明ラベル

2.4GHz RX-471 デュアルIDバージョンについて

- 従来の2.4GHz受信機では送信機ID(識別番号)を1つしか記憶させることができませんでしたが、RX-471 デュアルIDバージョンでは2つのIDを記憶させることが可能となり、耐久レースなどでホイラータイプとスティックタイプを使用するドライバーの組合せが可能となりました。
FH4/FH3に対応した2台の送信機固有のIDを受信機に記憶させること(BIND/バインド)で、バインドした2台の送信機との動作が可能になります。(注: 2台の送信機と同時に動作できません。)
対応する送信機はM12、MT-4、M11X、EXZES X、MX-3X、GEMINI Xとなります。
 - スロットルのニュートラル位置や動作量は送信機の機種や固体によって異なります。バインドした送信機の組合せによって、送信機の設定値が同じにならない場合があります。車体のリンクageに合わせてそれぞれの送信機で調整をおこなってください。
 - フェールセーフの設定は必ずそれぞれの送信機でおこなってください。
 - M11X、EXZES Xで使用する場合にはSHR/NORモード、MX-3X、GEMINI Xで使用する場合にはNORモードのみとなります。
- ※1台の送信機でレスポンスモードを切り替えてバインドしてもレスポンスモードは切り替わりません。最後にバインドしたレスポンスモードの設定での動作になります。

2.4GHz BIND(バインド)の設定方法

※BIND(バインド)とは: 2.4GHz送信機はそれぞれ固有のID(固体識別)番号をもっていて、そのID番号を受信機に記憶させること(BIND/バインド)です。BIND設定した送信機と受信機のセットでしか動作しないようになります。

- ①M12やMT-4のBIND機能の[MODULATION]、[RF MODE]、M11XやEXZES X、MX-3X、GEMINI Xの場合は[MOD]の設定が《FH3/FH3F》か《FH4T/FH4FT》に設定されているのを確認します。
- ②送信機の電源SWをONにして、[BIND]可能な状態にします。
- ③RX-471デュアルIDバージョンのBINDボタンを押しながら、受信機側の電源SWをONにします。
- ④受信機のLEDがゆっくりとした点滅になるのを確認したら、受信機のBINDボタンを離します。
※受信機のLEDがゆっくりとした点滅になる前にBINDボタンを離した場合、BINDモードに入らない場合があります。
再度③の作業からやりなおしてください。
- ⑤RX-471のLEDがゆっくりとした点滅をしているときに送信機のBINDメニュー内の[ENTER]を操作してください。
- ⑥RX-471のLEDが早い点滅になり、その後LEDが点灯したらBIND設定は完了です。サーボ等を動作させて確認してください。
- ⑦2台目にバインドする送信機も①の作業からおこなってください。

※バインド設定の途中で受信機LEDが消灯してしまったり、バインド設定が完了しない場合は③の作業からやり直してください。

※2台目以降の送信機とバインドする場合には、先にバインドしたID番号データに上書きされます。

※1台の送信機で動作させる場合には、使用する送信機で2回連続してバインド設定をおこなってください。

⚠ 注意

- 出荷時にはBIND設定されていませんので、ご使用になる前に必ずBIND設定をおこなってください。